

H29 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
	311	学校教育課

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する		
	施 策 名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進		
基本方針	変化の激しい社会に対応できるよう、学校教育の中で、子どもの心、能力、体をバランスよく育て、生きる力と夢の持てる教育を推進します。そのため、心の教育の充実を図りながら、たくましい児童生徒の育成と、各学校の実情に合わせた特色ある学校づくりを推進します。				
施策展開	1	心の教育の充実	4		
	2	特色ある学校づくりの推進	5		
	3	児童・生徒の健康と体力の向上	6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
読書が好きな子どもの割合(%)	実績	74.1	77.2	75.3	73.5			80	全国学力・学習状況調査
	達成率	92.6%	96.5%	94.1%	91.9%				
学校教育が充実していると答えた割合(%)	実績	32.1	35.5	33.2	33.7			40	まちづくり市民アンケート
	達成率	80.3%	88.8%	83.0%	84.3%				
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	前年度と比較し若干の減少がみられるが、学年の特質等もあり、読書の好きな子供の割合はおおむね高く定着してきている。事業として少しずつ成果が表れてきていると考えられる。また、授業の中でも積極的に活用されている。			構成事務事業の 適当性	適当である。
	施策実現に向けての課題	活用できる国県の事業縮小のため、現場の希望(増員)について応えられていない(『学校支援地域本部事業』)。また市の単独事業についても現場から人員増の要望がでている(『児童生徒の個別支援事業』)。			今後の施策の 取組・改善策	活用できる新たな補助事業等を探りながら、更なる充実を図っていく。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。				

【施策を構成する事務事業 11】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H28実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	教育相談事業		311-101-62	学校教育課	6,188	0	5,961	高	◎	↗	⇒
独自		不登校傾向及び不登校である児童生徒の減少を図り、各小中学校への復帰につなげる。児童生徒の悩みや不安を解消し、学校生活や社会生活に適應できるように支援する。	教室の開設数(回)	146	130	5,925	0	5,961	市スクールカウンセラーによるカウンセリング、巡回相談について現場から回数の増加の要望がある。			
一般会計			不登校児童生徒数(人)	28	19	4,817	0	3,012				
1	02	児童生徒の個別支援事業		311-102-62	学校教育課	31,851	0	2,709	高	◎	↗	⇒
独自		発達障害等により、普通学級での学習に遅れがちな児童生徒を支援するため個別学習指導員を配置し、学級全体の学習活動の充実を図る。	個別学習指導員等の配置数(人)	20	20	27,030	0	2,709	個別指導の必要な児童生徒は増えており、学校から人員増の要望が高い。			
一般会計			実態に応じた個別指導体制の該当児童生徒数(人)	77	-	26,532	3,884	2,733				
2	01	学校支援地域本部事業		311-201-62	学校教育課	15,087	9,445	1,935	高	◎	⇒	
独自		小中学校における学校図書館の整備及び機能の充実と、学校と地域の連携体制の構築を図るため、地域コーディネーターを配置し、読書好きな児童生徒を増やすとともに学力の向上を目指す。	地域コーディネーターの配置校数(校)	11	-	14,688	9,306	1,935	萩野学園について、H28年度は人員が1名減となり、現在復活を国に申請中			
一般会計			児童生徒年間一人平均貸出冊数(%)	85	100	15,646	9,949	1,952				
2	02	教育研究所運営事業		311-202-62	学校教育課	112	0	2,400	高	◎	⇒	
独自		教育に関する調査研究、教員の研修により、教育計画の樹立と資質向上、教育実践の充実を図る。	講座・委員会数	9	9	109	0	2,400				
一般会計			講座・研修会数	33	35	73	0	2,420				
2	03	学力等検査事業		311-203-62	学校教育課	4,252	0	774	高	◎	⇒	
独自		児童生徒の学力の到達度を評価し、結果を指導法の改善に役立て、学力の伸長を図る。	学力検査実施教科数(教科)	6	6	4,052	0	774				
一般会計			標準学力検査(小学校6年・算数)の偏差値平均(偏差値)	52	55	4,215	0	781				
2	04	国際理解教育・外国語教育推進事業		311-204-62	学校教育課	17,614	0	2,787	高	◎	⇒	
独自		児童生徒の国際理解教育及び外国語教育の充実のため。	地域の外国語指導講師やALT2名の外国語等活動授業時数(h)	1,818		11,958	0	2,787	ALTについては、H28年度の3名体制から1名増員の4名体制となっている。平成32年度の新学期指導要領の実現に向けて、これからの経過を見ながら、平成31年度に1名増員を検討。			
一般会計			標準学力検査(中学校2年・英語)の偏差値平均(偏差値)	49	51	8,406	0	2,811				
2	05	学校経営指導事業		311-205-62	学校教育課	0	0	7,741	高	法定		
法定		適切な学校経営がなされるように、研修や訪問等を通して、指導を行う。	学校訪問指導日数(日)	16	22	0	0	7,741				
一般会計			—			0	0	7,808				
2	06	教育研究センター運営事業		311-206-61	教育総務課	20,536	0	77	高	法定		
法定		教職員の質・指導力の向上と児童生徒の確かな学力の定着を図る。	講座・研修会開設数(回)	190	200	45,670	0	77				
一般会計			標準学力検査(中学校2年・理科)の偏差値平均(偏差値)	48	55	51,115	0	78				
3	01	学校教育体育・文化振興事業		311-301-62	学校教育課	1,831	0	387	高	◎	⇒	
独自		児童生徒が個人又は団体として、県大会を勝ち進んで東北大会以上の大会に出場する場合には出場奨励費を支給し、学校教育におけるスポーツ活動及び芸術文化活動の振興を図るため。	申請額に対する支給割合(%)	90	100	1,589	0	387				
一般会計			大会出場数の伸び率(対前年費)	55	110	2,345	0	390				
3	02	学校保健対策事業		311-302-62	学校教育課	19,203	1,280	4,025	高	法定		
法定		各種検診・検査を実施し、児童生徒の健康の保持増進と学校保健の積極的な推進を図るため。	学校医・学校歯科医配置人数(人)(内科、眼科、耳鼻科、歯科)	47	45	17,423	1,226	4,025				
一般会計			児童生徒の定期健康診断受診(内科)割合	100	100	18,436	1,300	4,060				

【施策を構成する事務事業 11】

施策展開	事業番号	事務事業名	事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
					事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (◇、△、×の場合のみ)		
				H28実績値		目標値	H27決算(単位:千円)				
		事業費	特定財源		人件費						
3	03	小中学校給食管理運営事業	311-303-62	学校教育課		78,396	0	49,697	高	法定	
法定		児童及び生徒の心身の健全な発達に資すると共に、生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図る。	献立検討会の開催回数(回)	11	11	79,191	0	19,697			
一般会計			学校給食における県産・地場産食材の使用割合	42	50	96,789	0	48,644			

【新規事業の検討(個別調書作成対象事業)】

	事業名	担当課
1		
2		
3		
4		

	事業費	特定財源	人件費
H29予算(単位:千円)	195,070	10,725	78,493
H28予算(単位:千円)	207,635	10,532	48,493
H27予算(単位:千円)	228,374	15,133	74,689

	1次	2次
◇	2	0
⇒	5	7
△	0	0
×	0	0
合計	7	7

施策評価

施策コード	担当課名	
312	学校教育課	教育総務課
	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する		
	施 策 名	2	地域に根ざした学校教育の充実		
基本方針	地域に密着した教育を推進するため、地域や高等教育機関等と連携しながら教育環境の充実に向けた取組を推進します。また、新庄市の特色である中学校区単位での小中連携事業を充実させながら、小中一貫教育に向けた取組を推進します。				
施策展開	1	小中一貫教育の推進	4		
	2	地域の学校づくりの推進	5		
	3	高等教育機関等との連携及び活用	6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
「新庄や自分の住んでいる地域が好きだ」と答えた児童生徒の割合(%)	実績	85.5	87.3	87.2	-			90	学校評価(年度末)
	達成率	95.0%	97.0%	96.9%					
「子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携がとれている」と答えた割合(%)	実績	33.0	32.2	31.0	32.8			40	まちづくり市民アンケート
	達成率	82.5%	80.5%	77.5%	82.0%				
「地域の行事に参加している」と答えた人の割合(%)	実績		75.6	76.1	76.3			83	全国学力・学習調査
	達成率	0.0	91.1%	91.7%	91.9%				

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	<p>【学校教育課】小中一貫教育校基本計画の考え方が徐々に浸透してきている。</p> <p>【社会教育課】現在は、学校・家庭・地域が丸くなって子どもを育てていく仕組みが必要になっている。しかし、その体制づくりはまだ市民が求める段階まで至っていないため、市民アンケートの満足度が低下していると推測される。</p>	構成事務事業の 適当性	<p>【学校教育課】適当である。</p> <p>【教育総務課】小中一貫教育の推進に最も効果的と評価される施設一体型の義務教育学校の建設は適当と判断している。</p> <p>【社会教育課】フィールドワークの目的は「大学生と地域の方々交流することによる地域活性化」である。そのため、事業構成も、「活力みなぎる地域活動の推進」の項目に置くことが望まれる。</p>
	施策実現に向けての課題	<p>【学校教育課】明倫中学区義務教育学校の開校に向けての実施計画の策定とともに、他中学校区の小中一貫教育の更なる充実が求められる。</p> <p>【教育総務課】今年度に明倫学区義務教育学校推進計画策定委員会を設置し計画策定に向けて協議を行っている。 地域に密着した教育を推進するため、学校関係者・PTA・地域住民への周知と理解が重要な課題である。</p> <p>【社会教育課】受入団体がフィールドワーク終了後も大学生と関わってほしいという「意識」を醸成する必要がある。 また、今年度のフィールドワークを受講した学生で、新庄の社会問題に取り組む団体を結成しようという動きがあり、その動きを支援する仕組みが必要である。</p>		今後の施策の 取組・改善策
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 成果縮小		
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおりに。		

【施策を構成する事務事業 4】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H28実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	小中一貫教育推進事業		312-101-62	学校教育課	774	0	3,561	高	◎	↗	⇒
独自	学校教育の様々な課題を解決するため、学力向上、生徒指導の充実、「ふるさと学習」の充実、小中教職員との協働の視点から小中連携をさらに進化させた小中一貫教育を導入する。		小小交流、小中交流、教師の乗り入れ授業等の回数	59	-	2,142	0	3,561	小中一貫教育の推進の中で、開かれた学校づくりを更に推進するとともに、安定した学びの環境を確保し、地域・家庭・学校が一体となってよりよい教育の実現に向けて取り組む体制づくりを支援する			
一般会計			友人関係、教師との関係が原因の不登校件数	2	0	2,200	0	3,514				
1	02	明倫学区義務教育学校建設事業(H29新規)		312-102-62	教育総務課	70,613	0	8,437	高	◎	⇒	
独自	学校施設の整備にあたっては、各中学校区において小中一貫教育校(義務教育学校)を整備する方針で進めていくこととしています。明倫学区の北辰小、沼田小、明倫中学校を統合し、施設一体型の義務教育学校の新設を目指します。		地域の意見を反映するため、明倫中学校区小中一貫教育推進協議会との協議回数。	0	7	0	0	0				
一般会計			施設一体型の義務教育学校設置数	1	2	0	0	0				
2	01	学校のつばさ支援事業		312-201-62	学校教育課	4,500	0	1,393	高	◎	↗	⇒
独自	各小中学校が地域と連携しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進するとともに、自主的で創造的な取組みを通して、児童生徒一人一人の主体的な活動を育み、「生きる力」の育成を図る。また、全市民を挙げて教育を見つめる気運を高めるとともに、より良い教育環境づくりを推進する。		委託先学校数(市内小中学校数)(校)	11	-	4,500	0	1,393	本事業の成果として、学校の自主性を活かしながら中学校区単位で行う事で、9年間で学校と地域とで子どもを育てることに寄与している。今後は事業内容の更なる見直しとそれに伴う予算の増額を推進すべきと考える。			
一般会計			家庭・地域を巻き込んだ研修会等への参加人数(人)	1,000	-	4,500	0	1,405				
3	01	「山大エリアキャンパスもがみ」運営事業[フィールドワーク事業]		312-301-63	社会教育課	279	0	2,167	中	○	⇒	
独自	高等教育機関のない最上地域に大学の機能を誘致し、地域住民と教員・学生が交流することによって地域の活性化を図る		フィールドワーク受け入れ人数	56	70	200	0	1,471	※学校教育の充実とした場合			
一般会計			フィールドワークプログラム数	6	7	264	0	1,484				

【新規事業の検討(個別調書作成対象事業)】

	事業名	担当課
1	新聞を活用した教育活動への支援事業	学校教育課
2		
3		
4		

	事業費	特定財源	人件費
H29予算(単位:千円)	76,166	0	15,558
H28決算(単位:千円)	6,842	0	6,425
H27決算(単位:千円)	6,964	0	6,403

	1次	2次
↗	2	0
⇒	2	4
↘	0	0
×	0	0
合計	4	4

H29 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
	313	教育総務課

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する		
	施 策 名	3	安全安心な教育環境の整備		
基本方針	子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、登下校を含めた生活全般での安全を確保します。また、安全で快適な学校施設の整備を促進します。				
施策展開	1	学校施設の整備・充実	4		
	2	登下校の安全安心の確保	5		
	3		6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
小学校区・中学校区のスクールバス等利用区域数	実績	46.0	73.0	78.0	78.0			55	教育総務課調べ
	達成率	83.6%	132.7%	141.8%	141.8%				
交通事故の発生件数(件)	実績	3	5	4				0	児童生徒の交通事故発生件数(学校教育課調べ)
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%					
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	スクールバス等の利用区域も計画的に進めている。			構成事務事業の 適当性	適当である。
	施策実現に向けての課題	【学校教育課】通学路の安全点検を教育総務課と連携して実施しているが、改善が図られていない箇所が依然としてある。 【教育総務課】老朽化している学校施設が多く、優先的計画的整備が必要となっている。また導入済みの電子機器についても、経年による劣化が見受けられ始めている。			今後の施策の 取組・改善策	【学校教育課】学校、関係機関と連携して、危険個所の改善に取り組む必要がある。 【教育総務課】施設の整備等は、中長期的な活用方策を基に考えていく。また、電子機器についても計画的に導入更新を図っていく。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。				

【施策を構成する事務事業 8】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、▽、×の場合のみ)			
			成果指標	H28実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	学校図書館図書整備事業		313-101-61	教育総務課	6,000	0	852	中	○	⇒	
	独自	新学習指導要領が示す「言語力の育成」を目指す	蔵書数(冊)	104,584	110,565	6,001	0	852				
	一般会計		図書整備達成学校数(校)	4	11	6,000	0	468				
1	02	学校教材備品整備事業		313-102-61	教育総務課	5,760	0	852	中	○	⇒	
	独自	新学習指導要領を受けて、新たな教材整備計画を策定し、主要教科の授業時数増に対応できる教材備品の整備を図る。	1学校当りの事業費の均等割配分額(千円)	240	264	5,718	0	2,013				
	一般会計		1学級あたりの平均備品整備額(円)	42,045	213,500	5,743	0	2,030				
1	03	学校理科教材整備事業		313-103-61	教育総務課	1,050	525	852	中	○	⇒	
	独自	小中学校における理科の学習環境の整備を図る。	交付実施学校数(校)	3	3	1,035	517	852				
	一般会計		理科設備品現有総額(目標は国の基準額)(千円)	44,964	50,231	1,046	522	859				
1	04	情報教育推進事業		313-104-61	教育総務課	47,245	0	852	高	◎	↗	⇒
	独自	学校教育における情報教育の充実を図るため、小中学校におけるICT環境の整備を図る。	教職員1人1台の校務用PC配備の継続	326	320	43,073	0	852	ICT教育の充実にあたって、引き続きPC及び電子黒板等情報機器における、配備環境の構築・維持を必要とするため。			
	一般会計		電子黒板の活用回数(全校年間平均回数)	404	630	51,173	0	2,420				
1	05	学校施設整備・管理事業		313-105-61	教育総務課	49,197	0	46,291	高	◎	↗	⇒
	独自	児童生徒の安全と適切な学校経営のため、学校施設を管理・整備していく。	小中学校修繕金額(千円)	25,102		67,864	0	46,678	老朽化している学校施設が多く、維持管理のため、優先的に実施していく。			
	一般会計		計画修繕実施率(%)	65	100	132,895	0	46,301				
2	01	通学手段確保対策事業		313-201-61	教育総務課	38,470	3,535	3,561	高	◎	⇒	
	独自	遠距離通学となった児童・生徒に対し、スクールバス等の運行を行い、通学手段の確保を図る。また、通学以外の空き時間を利用し校外学習・大会等で活用する。	スクールバス総運行日数(日)	2,737	2,880	37,411	6,112	3,561				
	一般会計		スクールバス等通学利用者数(人)	378	400	27,311	3,255	5,075				
2	02	安全安心通学プラン推進事業		313-202-61	教育総務課	0	0	2,787	中	○	⇒	
	独自	新庄市の教育をめぐる環境変化に応じて、平成19年2月答申「『新庄っ子』の安全安心通学プラン』の実現を図る。	スクールバスその他通学用バスの配備台数(台)	14	16	0	0	1,239				
	一般会計		小学校区・中学校区のスクールバス等利用地区数	78	87	0	0	2,889				
2	03	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業		313-203-62	学校教育課	512	304	387	高	◎	⇒	
	独自	各学区・地域が連携して子どもの安全を図るため、登下校の見守り活動や通学路の安全点検を行う。	安全指導員の見守り活動日数	50	50	546	328	387				
	一般会計		交通事故発生件数	6	0	546	328	390				

【新規事業の検討(個別調書作成対象事業)】

	事業名	担当課
1		
2		
3		
4		

	事業費	特定財源	人件費
H29予算(単位:千円)	148,234	4,364	56,434
H28決算(単位:千円)	161,648	6,957	56,434
H27決算(単位:千円)	224,714	4,105	60,432

	1次	2次
↗	2	0
⇒	6	8
↘	0	0
×	0	0
合計	8	8

H29 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
321	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る		
	施 策 名	1	生涯にわたる学びの推進		
基本方針	市民一人ひとりの価値観やライフスタイルが多様化する中、市民の学習ニーズに対応した多様な学習情報と学習機会の提供に努めます。また、生涯を通じて学びたいときに誰もが学べるよう、生涯学習施設の充実を図ります。				
施策展開	1	多様な学習機会の提供	4		
	2	生涯学習施設の充実	5		
	3		6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
図書貸出冊数(冊)	実績	150,091	150,855	149,875				200,000	社会教育課調べ
	達成率	75.0%	75.4%	74.9%					
生涯学習施設稼働率(%)	実績	32.6	29.7	32.8				40	市民プラザ、わくわく新庄、雪の里情報館の施設稼働率の平均(社会教育課調べ)
	達成率	81.5%	74.3%	82.0%					
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	前年と比べ図書貸出冊数は減少したが、1万5千冊前後で推移している。施設稼働率は上がり一昨年時と同程度となった。			構成事務事業の 適当性	生涯にわたる学びの推進を図るため、適当な事業である。
	施策実現に向けての課題	幅広い世代への事業展開により、比較的利用の低い年齢層への働きかけが必要とされる。			今後の施策の 取組・改善策	各施設の設置目的などを勘案しながら、指定管理者との連携を図り、施設ごとに特色のある事業展開を実現していく。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	○施設の稼働率を高めるとともに、収益性についても検討要す。				

【施策を構成する事務事業 5】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、▽、×の場合のみ)			
			成果指標	H28実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	国際理解推進事業		321-101-63	社会教育課	0	0	696	中	○	⇒	
独自		世界にはさまざまな民族や文化、宗教、価値観があることを理解し、多文化共生の理念を育む。	日本語教室参加(登録)者数(人)	16	20	0	0	464				
一般会計			交流事業(延)参加者数(人)	10	25	0	0	468				
2	01	市民プラザ管理事業		321-201-63	社会教育課	41,883	0	929	高	○	⇒	
独自		本市における生涯学習の推進並びに市民の生活文化の振興及び社会福祉の増進を図る。	施設稼働率(%)	25	40	39,296	0	1,006				
一般会計			自主事業の参加者数	2,299	2,000	40,356	0	1,015				
2	02	図書館管理事業		321-202-63	社会教育課	44,858	0	1,316	高	○	⇒	
独自		図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。	貸出冊数	149,875	160,000	45,025	0	1,006				
一般会計			図書館の貸出人数	31,239	32,000	51,090	0	1,015				
2	03	雪の里情報館管理事業		321-203-63	社会教育課	20,160	0	929	高	○	⇒	
独自		雪害救済運動発祥の地としての業績を永く未来につたえとともに、雪及び雪国文化に関する学習、研究の場の提供や雪国他地域との交流などを積極的にすすめる、雪のふるさとづくりの推進を目的とする。	施設稼働率(%)	21	40	18,368	0	1,006				
一般会計			ギャラリー展示室の利用者数	4,964	5,000	19,120	0	1,015				
2	04	わくわく新庄管理事業		321-204-63	社会教育課	16,823	0	929	高	○	⇒	
独自		本市における生涯学習の推進及び市民の生活文化の振興並びに社会福祉の増進を図る。	施設稼働率(%)	47	40	17,472	0	1,006				
一般会計			自主事業の参加者数	5,064	5,000	58,211	0	1,015				

【新規事業の検討(個別調書作成対象事業)】

	事業名	担当課
1		
2		
3		
4		

	事業費	特定財源	人件費
H29予算(単位:千円)	123,724	0	4,799
H28決算(単位:千円)	120,161	0	4,488
H27決算(単位:千円)	168,777	0	4,528

	1次	2次
△	0	0
⇒	5	5
▽	0	0
×	0	0
合計	5	5

H29 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
	322	社会教育課

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る		
	施 策 名	2	活力みなぎる地域活動の推進		
基本方針	市民が地域において主体的に活動するための学びを支援するとともに、活動拠点の環境整備を進め、地域を支える人材の育成を図ります。				
施策展開	1	地域における活動の環境整備	4		
	2	地域を支える人材の育成	5		
	3		6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
市民活動に対する支援が充実していると答えた割合(%)	実績	16.0	14.1	15	15			20	まちづくり市民アンケート
	達成率	80.0%	70.5%	73.0%	77.0%				
地域公民館の整備件数(件)	実績	-	7	6	4			10	社会教育課調べ
	達成率	-	70.0%	60.0%	40.0%				
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	【社会教育課】アンケート結果及び公民館整備の件数は横並びの数値であり効果が見える指標にはそぐわない。 【総合政策課】地域づくりの機運向上を図っていく必要がある。			構成事務事業の 適当性	【社会教育課】各事業とも活動のきっかけづくりとしては適当である。 【総合政策課】施策の構成事業として妥当である。
	施策実現に向けての課題	【社会教育課】事務事業の見直しが適切になされていないように感じる。 【総合政策課】地域づくりの担い手の育成。			今後の施策の 取組・改善策	【社会教育課】各部署の事務事業との連携や統合で見直しも可能か？ 【総合政策課】今後の地域の担い手を講座を通して育成し、地域づくりの機運向上につなげる。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。				

【施策を構成する事務事業 8】

施策展開	事業番号	事務事業名			事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
		事業区分	目的	活動指標			H28実績値	目標値	事業費			特定財源	人件費
会計	成果指標				H28実績値	目標値			H27決算(単位:千円)			予算配分の方向性の判断要因 (?、△、×の場合のみ)	
		事業費	特定財源	人件費									
1	01	地区公民館管理事業			322-101-63	社会教育課	12,777	288	1,316	中	◎	↗	
独自	生涯学習の場としての施設環境を管理整備し、市民が利用しやすいようにする。	利用団体数(件)	818	1,000	17,399	305	929	八向地区公民館の整備利活用の検討					
一般会計		利用者数(人)	17,679	18,000	10,793	376	937						
1	02	地域公民館整備助成事業			322-102-63	社会教育課	1,500	0	619	中	○	⇒	
独自	地域活動の拠点となる公民館の新築、改築、土地購入及び改修などへの補助を行い、地域の社会教育活動の推進を図る。	事業周知回数(回)	2	2	2,133	0	619						
一般会計		助成町内件数(件)	6	10	2,978	0	625						
2	01	青少年育成推進員設置事業			322-201-63	社会教育課	100	50	3,716	高	○	⇒	
独自	青少年育成市民会議との連携及び活動推進、青少年の非行防止及び青少年に有害な環境の浄化など、各種活動を通して、地域における青少年の育成指導並びに青少年健全育成運動を推進することを目的とする。	児童参加型事業の回数(回)	3	5	100	50	1,393						
一般会計		活動回数(回)	18	25	100	50	1,405						
2	02	新庄市青少年育成市民会議事業			322-202-63	社会教育課	1,388	1,388	2,555	中	○	⇒	
独自	次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年を取り巻く家庭、学校、地域、行政等が相互に連携し環境づくりを進める。	事業の実施回数(回)	22	22	1,384	1,384	1,780						
一般会計		事業の参加者数(人)	1,408	1,360	1,356	1,356	1,796						
2	03	成人式開催事業			322-203-63	社会教育課	62	0	1,935	中	○	⇒	
独自	式典の開催により、新成人になったことを祝い、自覚を促し、地域を支える人材の育成を目的としている。	式の開催	1	1	62	0	1,161						
一般会計		成人式参加率(%)	72	75	60	0	1,796						
2	04	高校生ボランティア体験事業			322-204-63	社会教育課	253	0	3,329	高	◎	⇒	
独自	高校生にとってボランティア活動は豊かな学びの場であり、将来的に地域で活動する人材の育成にもつなげる。	ボランティア活動を行った回数(回)	65	40	140	0	2,167						
一般会計		しずく登録者数(人)	51	35	74	0	2,342						
2	07	地域リーダー育成事業			322-207-12	総合政策課	145	0	3,716	高	◎	⇒	
独自	地域の課題や現状認識の共有化を図りながら、課題解決策を見出し、その実施に向けて計画を練るという講座の取り組みを通し、地域づくりのリーダーを育成する。	平均参加者数(人)	21	40	109	0	3,871						
一般会計		講座で学んだことを地域づくりに活かしていけると答えた割合(%)	12	100	157	110	5,153						

【新規事業の検討(個別調書作成対象事業)】

	事業名	担当課
1		
2		
3		
4		

	事業費	特定財源	人件費
H29予算(単位:千円)	16,225	1,726	17,186
H28決算(単位:千円)	21,327	1,739	11,920
H27決算(単位:千円)	15,518	1,892	14,054

	1次	2次
↗	1	1
⇒	7	7
↘	0	0
×	0	0
合計	8	8

H29 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
323	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る		
	施 策 名	3	市民が輝く文化芸術の振興		
基本方針	伝統文化の継承や文化財の保護を通して、ふるさとの歴史や文化に対する理解を深めることにより郷土愛を育みます。また、文化芸術の鑑賞や創作等に関わる機会を提供することにより、感性豊かな人材の育成に努めます。				
施策展開	1	伝統文化の継承とふるさと意識の醸成	4		
	2	創造的文化芸術活動の推進	5		
	3		6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
新庄市芸術祭参加者数(人)	実績	1,445	1,089	1,112				2,000	社会教育課調べ
	達成率	72.3%	54.5%	55.6%					
新庄市文化団体会議加入団体数	実績	36	35	34	34			35	社会教育課調べ
	達成率	102.9%	100.0%	97.1%	97.1%				
ふるさと歴史センターの来場者数(人)	実績	14,603	12,433	13,143				15,000	社会教育課調べ
	達成率	97.4%	82.9%	87.6%					

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	歴史センターの来場者数が増加している。平成28年12月に「新庄まつりの山車行事」がユネスコ無形文化遺産に登録され、今後も増加傾向にある。			構成事務事業の 適当性	施策の実現に向け、実施している事務事業は適当である。
	施策実現に向けての課題	経年劣化した文化財の修理が必要。ユネスコ登録により増加が予想される訪日外国人への対応が必要。また、伝統文化の担い手育成の動きも必要である。			今後の施策の 取組・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なイベントの企画、事業の充実を図り入場者を増やしていく必要がある。 ・文化財の修理は、年次計画を基に実施していく。訪日外国人へは、解説版等を多言語化していく。 ・芸術文化活動を多様な機会において広報を行う。 ・伝統文化の価値を外部の意見も取り入れながら、活動団体の方々と再定義する必要がある。その価値を子どもに伝える活動が必要となる。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。				

【施策を構成する事務事業 12】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H28実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	ふるさと歴史センター事業		323-101-63	社会教育課	4,501	0	3,716	中	○	⇒	
独自		生涯学習機会の提供と、新庄市のまつり・郷土の考古・歴史・民俗・芸術文化の伝承と公開を通して文化芸術の振興を図る。	企画展等事業数(件)	8	9	5,139	0	3,716				
一般会計			事業期間中の入館者数(人)	13,143	15,000	5,293	0	3,670				
1	02	ふるさと歴史センター管理事業		323-102-63	社会教育課	20,707	357	2,864	中	○	⇒	
独自		施設の維持管理	開館日数(日)	306	-	23,664	3,354	2,864				
一般会計			入館者数(人)	13,143	15,000	20,596	2,763	2,811				
1	03	重文旧矢作家住宅管理事業		323-103-63	社会教育課	2,718	0	1,316	中	○	⇒	
独自		優れた文化遺産を後世へ残す。	公開日数	209	-	1,908	0	1,626				
一般会計			旧矢作家住宅の見学者数(人)	1,476	1,600	1,842	0	1,327				
1	04	ふるさと歴史センター資料収集、保存、調査研究事業		323-104-63	社会教育課	1,575	0	697	中	○	⇒	
独自		収集資料の適切な保存管理・調査研究	収蔵資料整理従事者数(人)	96	-	1,438	0	1,703				
一般会計			資料整理・データ化件数	961	1,400	1,954	0	1,640				
1	05	民話普及事業		323-105-63	社会教育課	453	300	1,316	中	○	⇒	
独自		先人の知恵の結集ともいえる民話を通して、地域の自然・歴史・文化を守り、伝承していく。	語り実践学校(校)	3	5	429	300	1,703				
一般会計			語りの日観客数(人)	451	650	729	300	1,640				
1	06	文化財保護管理事業		323-106-63	社会教育課	30,233	25,751	3,251	中	◎	↗	
独自		優れた文化遺産を後世へ残す。	市文化財保護審議会の開催回数(回)	0	1	7,021	0	2,555				経年劣化した箇所を年次計画を基に修理を実施している。
一般会計			国の文化財(戸沢家墓所、八幡神社)への見学者数(人)	45,000	47,000	3,932	2,236	781				
1	07	新庄亀綾織伝承協会支援事業		131-107-63	社会教育課	3,000	0	387	中	○	⇒	
独自		市の伝統的な工芸品である「亀綾織」の振興及び後世への伝承を図る。	機織り体験教室開店日数(日)	256	300	500	0	619				人材育成を重点的に実施するため、補助金を増額している。
一般会計			新庄亀綾織伝承協会会員数	6	5	500	0	547				
1	08	国・県指定文化財管理費補助金		323-108-63	社会教育課	419	0	464	中	○	⇒	
独自		優れた文化遺産を後世に残すために、国や県から指定された文化財の維持管理費の一部を助成する。	支援文化財数(件)	2	3	630	0	697				
一般会計			維持管理された文化財数(件)	2	3	141	0	625				
1	09	国文化財指定登録事業		323-109-63	社会教育課	0	0	232	低	▲	⇒	
独自		優れた文化遺産を後世に残していくこと。	調査活動数及び例会開催数(回)	0	2	0	0	1,084				
一般会計			国の文化財指定・登録数(件)	0	1	2,209	1,000	2,889				
2	01	市民文化会館管理事業		323-201-63	社会教育課	69,179	0	929	高	○	⇒	
独自		市民の文化芸術振興を目的としている。	施設稼働率(%)	42	40	59,476	0	1,006				
一般会計			自主事業の入場者数	4,780	6,500	72,642	0	1,015				

【施策を構成する事務事業 11】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H28実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
2	02	子ども芸術学校事業		323-202-63	社会教育課	800	0	1,393	中	○	⇒	
独自	一般会計	子どもたちに表現活動の楽しさを体験させ、文化芸術に親しむ素地を培う場となることを目的とする。	延べ開催学習回数(回)	82	140	800	0	1,393				
			受講者数(人)	48	50	760	0	1,796				
2	03	山形県総合美術展覧会巡回展		323-203-63	社会教育課	562	0	232	中	○	⇒	
独自	一般会計	市民が文化芸術活動に参加できる機会をつくり、自主的な活動を支援し、豊かな心の育成を図る。	展示作品数(点)	433	250	562	0	232				
			入場者数(人)	1,911	1,600	562	0	312				

【新規事業の検討(個別調書作成対象事業)】

	事業名	担当課
1	地域の歴史・文化活用促進事業	社会教育課
2		
3		
4		

	事業費	特定財源	人件費
H29予算(単位:千円)	134,147	26,408	16,797
H28決算(単位:千円)	101,567	3,654	19,198
H27決算(単位:千円)	111,160	6,299	19,053

	1次	2次
△	1	1
⇒	11	11
◇	0	0
×	0	0
合計	12	12

H29 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
331	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する		
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興		
基本方針	市民一人ひとりが日常生活の中で目的や志向に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる社会を実現するため、ニーズに応じたスポーツイベントの開催や、スポーツプログラムの提供を行い、健康で豊かな生活が送れる環境をつくります。さらに、適切な施設運営、整備を進め、誰もがスポーツに親しめる環境の整備を図ります。				
施策展開	1	多様なスポーツ機会の提供	4		
	2	総合型地域スポーツクラブの充実	5		
	3	スポーツ施設の充実	6		

【目標指標】

指標名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目標	指標の説明
総合型地域スポーツクラブ会員数(人)	実績	407	374	322				450	かむてんスポーツクラブ調べ
	達成率	90.4%	83.1%	71.6%					
市民参加型スポーツイベント参加者数(人)	実績	3623	3,386	3,112				4,300	社会教育課調べ
	達成率	84.3%	78.7%	72.4%					
スポーツ施設の使用者数(人)	実績	139,722	118,038	134,028				155,000	社会教育課調べ
	達成率	90.1%	76.2%	86.5%					

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	総合型地域スポーツクラブ会員は概ね固定されており、新規会員は増えていない状況にある。スポーツイベントへの参加者も同様であり、新規のイベントを計画しないと増えてはかない。スポーツ施設の使用者数については、大規模改修事業も28年度で一旦終了し、例年通りの使用者数に戻ってきている。また、リニューアルした施設では使用者数も伸びてきている。			構成事務事業の 適当性	施策の実現に向け、実施している事務事業は適当である。
	施策実現に向けての課題	市民参加型スポーツイベントを開催しているが、大会において体育協会や各種競技団体などと連携しながら参加者ニーズにあった、より充実した運営ができるように推進していく。			今後の施策の 取組・改善策	新庄ハーフマラソン大会など新たな市民参加型スポーツイベントを実施したが、より参加者ニーズにあった大会運営をしていくためにアンケート結果等を踏まえ、関係団体と協議・検討を進めていく。また、市民からの要望が強い体育施設の改修や修繕など利用者の安全を重視しつつ、計画的に整備を図る。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。				

【施策を構成する事務事業 13】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H28実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	市民参加型スポーツイベント開催事業		331-101-64	社会教育課	30	0	1,161	高	○	⇒	
独自		夢と感動を与えスポーツの振興を図る。	大会実施回数(回)	2	2	30	0	2,322				
一般会計			クリテリウム・スポーツクリエイション祭・ゴルフ・いものこマラソン・市総体・地域スポーツクラブ参	3,112	4,300	302	0	2,264				
1	02	新庄ハーフマラソン大会開催事業(H29新規)		331-102-64	社会教育課	7,200	3,256	7,354	高	◎	↗	⇒
独自		市民のスポーツへの関心と意欲を高め健康増進と体力向上につなげるとともに、交流人口の拡大と観光振興を図っていく。	参加申込者数	802	1,500	0	0	0	初開催により明確となった課題等を整理し、より充実した大会実施に向けて運営内容を十分検討していく必要がある。			
一般会計			参加者数	684	1,500	0	0	0				
1	03	(一財)新庄市体育協会運営費補助金		331-103-64	社会教育課	14,472	0	619	高	◎	⇒	
独自		市におけるスポーツを振興し、市民の体力向上とスポーツ意識の高揚を図る。	加盟団体数(団体)	22	22	14,343	0	619				
一般会計			体育表彰者数(個人・団体)(件)	101	70	14,247	0	547				
1	04	新庄市総合体育大会委託事業		331-104-64	社会教育課	848	0	619	高	○	⇒	
独自		市民の体力と競技力の向上を目指し、各競技のスポーツ振興を目的とする。	大会種目数(種目)	16	17	848	0	619				
一般会計			大会参加者数(人)	2,033	2,500	848	0	547				
2	01	総合型地域スポーツクラブ育成事業		331-201-64	社会教育課	0	0	774	高	○	⇒	
独自		市民がスポーツ活動に参加する場を提供する。	かむてんSC短期教室の参加者数(人)	17	100	0	0	1,161				
一般会計			かむてんSCの年度末会員数(人)	322	550	0	0	1,093				
3	01	市体育館管理運営事業		331-301-64	社会教育課	18,493	0	697	高	○	⇒	
独自		スポーツを行う場を市民に提供し、競技スポーツ力の向上、市民の健康増進など地域のスポーツ振興を図る。	利用団体数	1,303	2,000	19,065	0	697				
一般会計			利用者数(人)	35,218	55,000	17,293	1,012	703				
3	02	市民スキー場管理事業		331-302-64	社会教育課	27,007	0	697	高	○	⇒	
独自		市民一人ひとりが楽しめる、親しめるスポーツライフの実現を図る。	開場日数(日)	51	65	27,046	0	852				
一般会計			利用人数(人)	9,642	15,000	31,352	3,509	859				
3	03	市民球場管理事業		331-303-64	社会教育課	21,783	0	697	高	○	⇒	
独自		一人一人に応じた夢と感動あるスポーツライフを実現する。	開場日数(日)	360	342	21,646	0	697				
一般会計			利用人数(人)	33,370	37,000	23,500	2,323	703				
3	04	武道館管理事業		331-304-64	社会教育課	4,530	0	697	高	○	⇒	
独自		誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	開館日数(日)	344	343	4,581	0	697				
一般会計			利用人数(人)	10,697	16,000	6,452	1,223	703				
3	06	市民プール管理運営事業		331-306-64	社会教育課	3,531	0	697	高	○	⇒	
独自		誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	開場日数(日)	37	40	3,525	0	852				
一般会計			総利用人数(人)	6,152	7,000	4,115	635	859				

【施策を構成する事務事業 13】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (↗、↘、×の場合のみ)			
			成果指標	H28実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
3	07	その他体育施設管理運営事業		331-307-64	社会教育課	9,896	0	697	高	○	⇒	
独自	一般会計	テニス・ソフトボール・相撲などの競技スポーツの向上と幅広い年代の健康増進を目的とする。	開場日数(日)	214	214	5,304	0	697				
			利用者数(人)	25,772	40,000	7,920	2,742	703				
3	08	市体育施設整備事業(全体)		331-308-64	社会教育課	25,498	0	1,780	高	◎	↗	
独自	一般会計	誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	修繕実施箇所数(箇所)	22	40	500,138	0	2,167	体育施設の老朽化に伴う計画的な修繕が必要である。			
			全施設利用者総数(人)	134,000	155,000	450,947	0	2,108				
3	09	山屋セミナーハウス管理事業		331-309-64	社会教育課	10,207	0	1,161	高	○	⇒	
独自	一般会計	競技スポーツの向上、強化を行う際の拠点となる宿泊施設を目指す。	開場日数(日)	363	-	10,280	0	1,239				
			利用者数(人)	13,177	18,000	14,367	0	1,171				

【新規事業の検討(個別調書作成対象事業)】

	事業名	担当課
1	ホスタウン推進事業	社会教育課
2		
3		
4		

	事業費	特定財源	人件費
H29予算(単位:千円)	143,495	3,256	17,650
H28決算(単位:千円)	606,806	0	12,619
H27決算(単位:千円)	571,343	11,444	12,260

	1次	2次
↗	2	1
⇒	11	12
↘	0	0
×	0	0
合計	13	13

H29 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
332	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する		
	施策名	2	新たな活力を生み出す競技スポーツの振興		
基本方針	トップレベルの大会で地元選手が活躍することは、応援する市民の活力となり、地域の活性化にもつながります。関係団体との連携強化により、選手や指導者の育成を図るとともに、全国規模の試合の誘致に努め、競技力の向上を図ります。				
施策展開	1	選手の確保・育成	4		
	2	指導者の育成・支援	5		
	3		6		

【目標指標】

指標名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目標	指標の説明
新庄市体育表彰者数(個人・団体)(組)	実績	65	78	59				70	東北・全国大会に出場又は県大会に優勝し、新庄市体育表彰基準に基づき表彰された個人・団体数(社会教育課調べ)
	達成率	92.9%	111.4%	84.3%					
日本体育協会公認スポーツ指導者数(人)指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ・ジュニアスポーツ指導員・スポーツリーダー	実績	47	47	41				50	山形県体育協会調べ
	達成率	94.0%	94.0%	82.0%					
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	新庄市体育表彰者数は目標値を達成しているが、日本体育協会公認スポーツ指導者数については、新たに資格を取得しようとする人がいない状況である。			構成事務事業の 適当性	第8期県縦断駅伝競走大会新庄最上チーム強化対策事業(平成30年度まで)実施され、さらなる陸上競技(長距離)の強化を図りながら地域のスポーツ全体の競技力の向上を目指す必要がある。		
	施策実現に向けての課題	陸上競技は、全てのスポーツの基本となるため、陸上競技の普及と底辺拡大を図り、市民のスポーツ活動への意識を高める。施策を実現していくためには、市体育協会を始めとした関係団体との緊密な連携が不可欠であり、連携をより深めながら競技スポーツの振興を図っていく必要がある。			今後の施策の 取組・改善策	スポーツ競技力の向上は新たな活力を生み出すため、これからも小・中・高・一般の強化対策及び底辺の拡大を図る。		
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小		
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。						

【施策を構成する事務事業 5】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H29予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H28実績値	目標値	H28決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H28実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	山形県縦断駅伝競走大会新庄・最上チーム強化事業		332-101-64	社会教育課	6,120	4,025	5,264	高	◎	⇒	
	独自	山形県縦断駅伝競走大会において、上位入賞を果たし、市民に勇気と感動を与える。	強化練習(合宿)回数(回)	2	5	8,732	5,836	3,561				
	一般会計		山形県縦断駅伝競走大会のチーム順位	10	3	8,493	5,709	3,904				
1	02	陸上競技長距離強化事業		332-102-64	社会教育課	230	0	4,180	高	○	⇒	
	独自	陸上競技の普及・底辺拡大(競技者)と県ジュニア駅伝大会において上位入賞を果たすことを目的とする。	新庄ロードレース大会の参加者数(人)	244	300	286	0	3,406				
	一般会計		県市町村対抗ジュニア駅伝大会の新庄市チーム(男女)順位・上位順位の方	4	5	275	0	3,748				
1	03	(社)山形県スポーツ振興21世紀協会負担金		332-103-64	社会教育課	1,064	0	310	低	○	⇒	
	独自	県内の一流選手の活躍と彼らとのふれあいによって、県民(市民)のスポーツ振興を図る。	協会歳出決算(百万円)	203	1,754	1,064	0	310				
	一般会計		都道府県対抗女子駅伝大会の山形県チーム順位(位)	38	10	1,064	0	234				
1	04	南東北インターハイ・バドミントン競技開催事業(H29新規)		332-104-64	社会教育課	10,263	0	7,082	高	▲	×	
	独自	高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るほか、本市の魅力を発信し、活力ある地域づくりにつなげる。	大会参加者数(新庄会場)	355	350	0	0	0	平成29年度で終了する事業である。			
	一般会計		大会観客者数(新庄会場)	4,990	4,500	0	0	0				
2	01	スポーツ指導者活用事業		332-201-64	社会教育課	500	0	1,780	高	○	⇒	
	独自	スポーツ基本法で設置が義務付けられているスポーツ推進委員の指導力を向上させ、市民スポーツの普及振興を図る。	研修会への参加数と独自研修会の開催数(回)	16	12	449	0	2,942				
	一般会計		県研修会等の受講者数(人)	34	50	397	0	3,670				

【新規事業の検討(個別調書作成対象事業)】

	事業名	担当課
1		
2		
3		
4		

	事業費	特定財源	人件費
H29予算(単位:千円)	7,914	4,025	11,534
H28決算(単位:千円)	10,531	5,836	10,219
H27決算(単位:千円)	10,229	5,709	11,556

	1次	2次
↗	0	0
⇒	4	4
↘	0	0
×	1	1
合計	5	5